

令和2年度 市長とオンラインミーティング（第2回） 参加者発言要旨

令和2年10月21日（水）19:00～20:30

開催	参加者活動種別	発言要旨
第2回 (10月21日)	共生型地域交流拠点 など	<ul style="list-style-type: none"> ●共生型地域交流拠点を4月からオープンする予定だったが、コロナの影響があり、7月1日からオープンした。週5日実施予定だったが、新型コロナが心配でボランティアの方が参加できず、週3日実施している。オープン後、思っていた以上に人が来てくれるが、子どもたちはどうしても固まってしまうので、密になるのが心配。食べ物も提供したいが、飲み物だけにしている。絶えず不安を持ちながら実施している。
第2回 (10月21日)	地区社会福祉協議会 など	<ul style="list-style-type: none"> ●北部地域で初めて共生型地域交流拠点を開こうと活動しているが、我々のところで現在考えているのは南部地域のカフェスタイルのようなものではなく、公民館スタイルにしようと考えている。既存の「子育て地域サロン」や「ふれあい喫茶」、「認知症カフェ」、「老人いこいの家」など、様々な活動グループが個別に独自の横の連携がない形で活動している状態があるが、常設の共生型地域交流拠点という舞台を作ることで、今まで個別にばらばらにやっていた活動グループが共通の場所でお互いが連携しあうことで新しいつながりを作ろうと考えている。既存の自治会活動が難しくなる中で自発的、自主的なグループが連携しあいながらそれを結びつけることで多世代交流の場となり地域の活性化やコミュニティの再生につながるのではないかと。 ●コロナ禍において、地区社協で後期高齢者に電話で声掛けをしたところ非常に喜ばれたが、電話だと詐欺と間違われることがある。オンラインでのビデオ通話ができるようになれば良いが、高齢者はビデオ通話する環境がなかなか整わない。高齢者が個人宅でビデオ通話ができるような環境づくりのサポートができればと考えているが、市も一緒に考えて欲しい。
第2回 (10月21日)	子育て支援活動（任意団体） 育成センター運営委員会 など	<ul style="list-style-type: none"> ●公民館が開いている時間には参加できない働く世代が仕事終わりに1時間だけでもオンラインで地域の人とつながる機会を市で準備してもらえたらと思う。 ●共働き家庭が増えているので、なかなか時間を取れないその世代のためにもオンラインで困っていることや市へ伝えたいことを吸い上げる機会があればいいと思う。また、現在はオンラインで簡単にアンケートができるようになってきているため、意見等を聞く際にはそうした世代にオンラインでアンケートを取って欲しい。 ●PTAだと相談できる窓口としてPTA協議会があるが、育成センターにはない。育成センターに通っている保護者、先生たちも気軽に相談できる窓口が欲しいと思う。
第2回 (10月21日)	子育て支援活動（任意団体） など	<ul style="list-style-type: none"> ●私が行っている転勤族の方を支援する活動では、新型コロナウイルスの影響が出てきた頃からリアルに会うことができず、ZoomやクロードのSNSで活動してきた。8月からはリアルな活動を始め、参加者についてはコロナ前は1回1時間半で30組以上来られていたが、今は2回各10組にして、各1時間で開催している。 ●転勤族は色々な地域から来られているので、他の地域の色々な情報、西宮市にとってもプラスになる情報を知っている方がたくさんいるが、地域に一人で入っていくのは難しい。 ●新型コロナウイルスの影響でテレワークパパが増えているので、このタイミングでこれらの方を地域に取り込んでいってパワーアップさせる機会にできないか。 ●『若い世代が地域に馴染みやすくなる』というためには「市ができること」、「転勤族の団体ができること」、「地域ができること」があると思うが、上手くやれば実は簡単にいくパターンができるのではないかと。西宮市は昔から転勤族の多い街なので、地域と転勤族を上手く繋げられたらと思う。まずは、『一緒になって何かをする』という成功事例を作っていくというのが良いと思う。転勤族をまとめるというところまではいかないが、『地域になじめない人を地域とつなげていく』ということと一緒にできればと感じた。
第2回 (10月21日)	子ども食堂	<ul style="list-style-type: none"> ●大人も含めて交流支援、世代間交流になるような子ども食堂を運営している。昨年からは週1回不登校の子の居場所づくりをしている。新型コロナウイルスの影響で今年2月の終わりくらいから子ども食堂ができなくなり、4月からお弁当の宅配を始め、6月の給食が始まるまで実施した。その際、企業に車と人を出してもらった。また、アパレル企業とつながって、服をプレゼントしてもらったりした。新型コロナウイルス自体は良いことではないが、これからの社会課題の解決に向けては必要なことが見えてきたと思う。 ●今までの福祉はやりたい人がやっていたが、これからは一人ひとりができる場所を持ち寄ってやるしかない。民間には民間の得意なところがあり、自治会が得意な部分があれば、個人のボランティアには一人ひとりが持っているスキルがある。それらを持ち寄りプロデュース・マッチングする力が必要になると思う。 ●市は地域交流のための情報プラットフォームを創設を検討しているとのことだが、情報の内容が重要になってくると思う。情報は一元化しないと支援が必要な人とつながらない。例えば市に関係することや公の機関の情報しか載らないものは役に立たない。民間の情報がなかなか載せてもらえない現状があるので、情報プラットフォームを作る際には掲載内容を吟味してもらえればありがたい。 ●私の団体には、食に困っている方から連絡がくるし、農家からは野菜が余っているという連絡がくる。こうしたマッチングが大事だと思っている。食のマッチングについて、市もご協力をいただければありがたい。

令和2年度 市長とオンラインミーティング（第2回） 参加者発言要旨

令和2年10月21日（水）19:00～20:30

開催	参加者活動種別	発言要旨
<p>第2回 (10月21日)</p>	<p>自治会連絡協議会</p>	<p>●新型コロナウイルスの影響下で、地域がどう繋がっていくかが問題になったとき、現状では回覧板しか連絡網がないのが問題になったので、私の地区ではホームページを立ち上げることになった。これであれば子育て世代にも手軽に見てもらえる。ホームページを若い世代の子育て世代の方にも自治会を手伝っていただくための第一歩としていきたい。遠方にいる子が親の住む地域の様子を見て会話のきっかけになればとも思う。またホームページを通じて企業にスポンサーになってもらえれば、新しいこと始めるための資金となり、色々な地域の問題が解決できるのではないかと考えている。</p> <p>●ホームページが気軽な交流・情報交換の場になればと考えている。そして、若い世代が高齢者にパソコンやスマートフォンの使い方を教えてあげる教室を作れば、そこが繋がりになると思うので、ホームページが立ち上がったら一番にやりたいと考えている。</p> <p>●これまでは全て市に『やって欲しい』と頼めばよかったかもしれないが、これからの時代は市と地域の役割分担が大事である。自治会の役をする以外も少しだけでも地域に貢献したいと思っている人はいる。それぞれの一人ひとりの力を集めて地域のために行動していかないといけないと感じている。</p>
<p>第2回 (10月21日)</p>	<p>西宮コミュニティ協会 など</p>	<p>●地域情報誌「宮っ子」は、新型コロナウイルスの影響で3・4月号が2か月遅れの6月発行となった。</p> <p>宮っ子は「皆さんの地域活動を市民にお知らせしたい」という思いで、地域の若い編集委員が取材している。発行後は自治会や民生委員など多くのボランティアの力で配達されているため、その皆さんの安全もこちらで考えないといけないのでコロナ禍において『できるよ』と言いつらいところがあった。</p> <p>●西宮コミュニティ協会は何しているところだと思われているかもしれないが、「宮っ子」以外の活動もしている。ぜひ皆さんの活動をより地域で取材して、皆さんに広めていきたい。1・2月号は発行する予定である。</p> <p>●「宮っ子」の情報は『タイムリーでない』と言われるが、高齢者にとっては紙媒体が手元にあることで安心に繋がる。今後皆さんのご意見も取り入れて、少しでも情報を手元に置けるように、「宮っ子」のありかたも考えていきたい。</p>